

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			7月4日	7月7日	7月8日	7月10日	7月11日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2150	2,2250	2,2140	2,2210	2,2210	u,c,
	USD/YEN	Spot	102,18	101,86	101,56	101,35	101,30	-0,0500
Swap	EUR/USD	Spot	1,3611	1,3605	1,3611	1,3609	1,3608	-0,0001
	BRL/YEN	Spot	46,19	45,78	45,88	45,64	45,61	-0,0300
Stock	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	0,87	0,85	0,85	1,00	1,00	u,c,
		1Year(p.a.)	1,04	1,13	1,03	1,18	1,18	u,c,
Real Interest	6MTH(p.a.)	10,78	10,76	10,79	10,77	10,77	+0,0011	
	1Year(p.a.)	10,85	10,84	10,88	10,86	10,88	+0,0227	
Stock	Bovespa		53.890	53.802	53.642	54.593	54.786	+193,18
Bond	CDS Brazil 5y	145,83	146,00	146,00	147,00	147,00	u,c,	
	Global 40	112,350	111,475	111,600	111,300	111,250	-0,0500	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
FIPE CPI-週次	0.07%	0.10%	0.03%	なし

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.2180 で寄り付いた。
- 週初のレアルは寄り付き後特段材料に乏しい中 2.2200 を中心に小幅な値動きした後、じりじりと下落し週間安値となる U\$1=R\$2.2270 を付た。
- 翌 8 日はワールドカップ大会ブラジル戦の影響からレアルの流動性は極めて低い展開となる中、大口の資金流入の噂が聞かれると一気に反発、週間高値となる U\$1=R\$2.2100 まで上昇した。
- サンパウロ衆の休日を挟んだ 10 日には中国の 6 月の輸出は市場予想を下回る伸びに留まったほか、ポルトガルの銀行の親会社が短期債務の返済を見送ったことからユーロが大きく下落し、リスク資産の売りも見られた。レアルはリスク資産売りの動きにつられて 2.2260 まで売り戻される展開となった。
- 週末にかけてはポルトガルのエスピリート・サント銀行に関連した問題がユーロ圏の金融システム全体へのリスクとなる可能性は低いとの見方が強まった結果、リスク資産の買戻しが見られ、レアルは小幅ながらもじりじりと買い戻され、結局 U\$1=R\$2.2210 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
7/14	貿易収支(週次)	jul/13	--	\$1289M
7/14	登録雇用創出合計	Jun	80.000	58.836
7/14	CNI産業信頼感	Jul	--	47.5
7/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jul	-0.50%	-0.67%
7/16	FGV CPI IPC-S	jul/15	0.25%	0.28%
7/16	小売売上高(前月比)	May	-0.1%	-0.4%
7/16	小売売上高(前年比)	May	3.8%	6.7%
7/16	広義小売売上高(前年比)	May	0.0%	0.0%
7/16	SELICレート	jul/16	11.00%	11.00%
7/17	FIPE CPI-週次	jul/15	--	0.10%
7/17	経済活動(前月比)	May	-0.50%	0.12%
7/17	経済活動(前年比)	May	-0.31%	-2.29%
7/17	ブルームバーグ 7月 ブラジル 経済調査			
7/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Jul	-0.42%	-0.64%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.18 – 2.25

今週はワールドカップ大会開催最後の週となり、ブラジルはドイツを相手に1-7という歴史的大敗という予想外な結果に国民全体が驚いた。経済面から見るとこの敗退が同国の政権交代と経済成長見通しの改善につながるとの観測が広まっており、ブラジルの株式市場にとっては好材料となった。大敗の影響が大統領選挙にどこまで影響を与えるのかは明確ではないが、少なくとも国民の注目はサッカーから少しずつブラジルの経済や他の課題に移っていると言えるだろう。来週はレアル相場の流動性も回復することが想定され、国内外のイベントや経済指標の影響を受けて大きく動く可能性がある。海外ではイエレンFRB議長による半期に一度の金融政策報告で議会証言のほか、消費者信頼指数等の重要な指標を控えている。国内では経済活動が注目されるほか、伯金融政策委員会(COPOM)の開催が予定されている。最近のインフレ指数が下がり始めているという結果からインフレ懸念が弱まっており、SELIC金利は市場のエコノミスト大半の予想である11%に据え置かれる可能性が高い。